

2019 AUTOBACS SUPER GT Round 5 FUJI GT 500mile RACE

2019年8月3日(土)~8月4日(日)

決勝 レポート

177 Laps



場所:富士スピードウェイ (静岡県) 1周 4,563m

天候:晴れ / コース:ドライ / 気温:32℃ / 路温:43℃ / 観客動員数:38,100人

10位完走

2019年 SUPER GT 第5戦の決勝が富士スピードウェイ(静岡県)で行われた。昨日に引き続き真夏の厳しい日差しの中、500マイル(800km)レースは始まった。

8月4日(日)

<決勝 177LAPS / 13:30~>

4回のピットインが義務づけられている富士500マイルレースでは、ピットインとセーフティーカー導入のタイミングが勝敗を左右しやすい。予選は単独でラップすることでコーナースピードでタイムを稼ぐ事ができるが、決勝ではそうはいかない。パレードラップそして1周のフォーメーションラップ後、500マイルレースのスタートは切られた。スタートを受け持った山内英輝はポジションを死守する。32周目にピットインしタイヤ交換、給油、ドライバー交代を行いピットアウト。井口卓人は順調に周回を重ね、6



www.rdsport.net

1周目に3位まで順位を上げる。66周目に2回目のピットイン、タイヤ交換、給油、ドライバー交代を済ませる。67周目に500クラスのクラッシュによりセーフティーカーが導入され73周目にリスタート、77周時点では実質6位の走行となる。98周目に3回目のピットイン、タイヤ交換、給油、ドライバーを山内から井口に代わってピットアウト。直後に2度目のセーフティーカーが導入され、103周目にリスタートとなる。135周目に4回目のピットイン、給油、ドライバーは井口から山内に代わるが、チームはタイヤ無交換を選択する。140周目には6位で走行するが、タイヤの状況が厳しく徐々に順位を下げ、結果10位でレースを終える。なお、GT500クラスの優勝は#6 WAKO'S 4CR LC500が、GT300クラスは#87 T-DASH ランボルギーニ GT3が制した。



■本島監督 コメント



厳しいレースになりました。800kmという長丁場のレースですのでチャンスはまだ有ると思います。データを詳細に分析して次回に活かしたいと思います。暑い中応援してくださったSUBARUファンの方々、本当にありがとうございました。次戦オートポリスはトップを走るBRZを見ていただけるよう頑張ります。

■井口 卓人 コメント



まずは、暑い中、たくさんの応援ありがとうございました。予選では、山内選手の素晴らしい走りでも4番手を獲得できました。決勝レースも展開は良かったですし、チームもドライバーもノーミスで、コース上では良いレースができたと思います。しかしピットインの度に順位を落とし、厳しいレースとなりました。リタイア続きの富士で、完走してポイントを獲得する事ができて良かったです。

■山内 英輝 コメント



今回マシンもエンジンの調子も良く、予選も上位に入り込む事ができました。この1番の大きな山場をチーム全員で乗り越える事ができ、ポイントも獲得する事ができました。ここから後半戦になります。常に上位争いができるように準備をして、後半戦に繋げていきたいと思っています！

決勝の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/>、
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2019/sgt/report/>もご覧ください

2019年8月4日
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net